



Press release

2020年3月3日

アクサ生命、4年連続で

「健康経営優良法人・大規模法人部門（ホワイト500）」に認定

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO:安淵 聖司)は、2020年2月、経済産業省が制度設計し、日本健康会議が認定を行う「健康経営優良法人・大規模法人部門(ホワイト500)」に選定されました。また、総合評価においては健康経営度調査の回答企業の「上位10%以内」となり、経済産業省が発行する選定企業紹介レポートでは、「健康経営を進める企業の手本となっている企業」として紹介されています。

健康経営優良法人認定制度は、2017年にスタートし、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。これまで健康経営優良法人(大規模法人部門)全体を通称「ホワイト500」としていましたが、健康経営の質の向上と普及促進の観点から、今年度より、健康経営度調査結果の上位500法人のみが「ホワイト500」として認定されることとなりました。



当社は、お客さまをお守りするという生命保険会社としての使命を果たすため、2015年4月に「健康宣言」を行い、健康経営を経営戦略に組み込んで、社員自らが心身ともに健康で健全に働ける会社を目指して取り組みを進めています。また、全国の商工会議所や地方自治体、協会けんぽ支部などの団体の皆さまとも協働し、健康経営の導入・実践支援を進め、企業経営者・従業員とご家族の皆さまの健やかで充実した人生の実現と、企業・地域社会の持続的な発展の実現に向けた取り組みを進めています。加えて、AXAグループおよび当社の投資活動においては、企業のESGの状況を評価して投資判断に組み入れています。健康経営への取り組みもESG評価の1項目として採用しています。

アクサ生命は、今後も健康経営を「企業の持続可能性を高める取り組み」と位置づけ、従業員にとって健康で働きやすい職場づくりに努めてまいります。また、生命保険会社としての社会的責任を果たす上で重要な施策として、健康経営の普及啓発を、地域に根差した多様なステークホルダーの皆さまと協働して推進してまいります。

従業員の健康増進に向けた取り組み

1. 推進体制について

CEOはCHO(チーフ・ヘルス・オフィサー)として、トップ自らが自身や社員の健康についてメッセージを発信し、健康意識の向上を牽引します。また、全ての管理職者は「健康推進マネージャー」として、健康推進施策であるアクサ・ウェルネス・プログラムの各アクションに主体的に参画し、チームへの健康経営を推進します。

2. これまでの取り組み

(1)「アクサ・ウェルネス・プログラム(AWP)」

2018年より社員に行動変容アンケートを実施し、生活習慣・行動変容の課題を洗い出し、これを基に、「運動」「食事」「メンタルヘルス」「がん対策」の4本を柱とした社員向けの健康経営施策である「アクサ・ウェルネス・プログラム(AWP)」を制定し、各アクションを実行してきました。特に社員向け健康教育である「Health KIOSK」の実施には産業医をはじめ、マネジメント層が積極的に関与し、全国各地で開催しています。これらの取り組みが高く評価され、2019年に「健康優良企業 金の認定」の取得につながりました。



(2)「健康管理ガイドライン」制定

2019年1月には「健康管理ガイドライン」を制定し、「健康診断の早期受診」や「健康診断の2次検査」、「特定保健指導」受診の義務化、「長時間労働の抑制」、「禁煙」など7つのアクションを特定し、社員一人ひとりが健康に関して意識を高め、主体的に取り組める社内環境づくりに努めています。

3. 今後の取り組み

管理職者が「健康推進マネージャー」としての役割を持ち、各部署での健康推進を牽引していきます。また、5つの項目について以下のようにKPIを設定しました。

- ①定期健康診断受診率 100%、②二次検診受診率 100%、③特定保健指導実施率 55%、
- ④喫煙率 20%、⑤ストレスチェック受検率 90%

※KPIは2023年度末の達成を目標としています。

KPI達成について、会社は喫煙率に対しては「オンライン禁煙プログラム」の無料提供を既に実施、二次検診受診については検査の一部費用補助を実施予定としています。

また、健康推進について組織・個人の取り組みを報告し、優れた健康アクションに対して表彰する制度(CHOアワード)を2020年に新設しました。

これからも行動変容や健康数の改善の施策にとどまらず、生産性の向上、社員の充実した人生設計につながるような取り組みを実施していきます。

アクサ生命は、多様なステークホルダーに寄り添い、より良いパートナーとして「健康増進」のサポートを行っています。

社員



当社の社員が主体的に健康増進に取り組めるように、「運動」、「食事」、「メンタルヘルス」、「がん対策」の4本を柱とした「AXAウェルネスプログラム」を提供しています。また、「健康管理ガイドライン」を制定し、「定期健康診断の早期受診」や「長時間労働の抑制」、「禁煙」など7つのアクションでサポートしています。

法人のお客さま



当社の社員が、「健康経営アドバイザー」となり、企業(経営者)に健康経営に関する情報提供や実践支援を行っています。経営者や従業員の健康増進は、企業全体の活力や生産性の向上をもたらし、業績向上や組織の価値向上へとつながる重要な取り組みです。

個人のお客さま



当社は、変化する時代のニーズを捉え、ライフプランの実現に役立つ商品やサービスをご提供できるよう努めています。今後もヘルスデータの高度活用などを通じた商品開発と、健康維持・予防と重症化防止など疾病管理に注力したサービス開発を一体的に行い、お客さまに寄り添い健康増進を支援するソリューションをご提供していきます。

行政・保険者



当社は、健康寿命の延伸・健康経営の推進に関する地方自治体との協定および協会けんぽ支部との覚書締結を進めています。連携・協力事項を通じて、地域社会の皆さまの健やかで幸せな人生の良き「パートナー」になることを目指しています。

投資対象



AXAグループ・当社は、ESG投資に積極的に取り組んでいます。投資先企業のESGの状況を評価して、投資判断に組み入れています。健康経営への取り組みは、ESG評価の一項目として採用しています。

※ESG投資とは、環境(environment)、社会(social)、企業統治(governance)に配慮している企業を重視・選択して行う投資

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。



アクサ生命について

アクサ生命は AXA のメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。AXA が世界で培ってきた知識と経験を活かし、246 万の個人、2,200 の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2018 年度には、2400 億円の保険金や年金、給付金等をお支払いしています。

AXA グループについて

AXA は世界 63 ヶ国で 17 万 1,000 人の従業員を擁し、1 億 500 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2018 年度通期の売上は 1,028 億ユーロ、アンダーライニング・アーニングスは 62 億ユーロ、2018 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 1 兆 4,238 億ユーロにのぼります。AXA はユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、AXA の米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI) による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

*上記の AXA グループ数値は 2018 年度のもの

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします：

アクサ生命保険株式会社 広報部

電話：03-6737-7140

FAX：03-6737-5964

<http://www.axa.co.jp>
